仙台市立太白小学校

利用学習計画書

平成２５年４月５日

担当　第６学年　佐々木　直子

１　ねらい

本物の遺跡を見て感じて体験活動に取り組むことを通して歴史学習に対する意欲と理解を深めるとともに狩猟・採取の生活について分かるようにする。

２　評価

意欲的に見学・体験活動に取り組むことができたか。

３　学習活動について

教科名：社会科　単元名：歴史博物館に行ってみよう

身につけさせたい力：意欲的に体験活動に取り組み歴史学習の理解を深めようとする。

４　事前指導

・縄文の村の様子をつかむ・・竪穴式住居や狩猟採集活動について知る

・地底の森、縄文の森の展示物や内容について理解し見学の見通しを持つ。

５　当日指導（活動）内容

（１）地底の森ミュージアム

１）見学学習：学習ノートを活用しながら全体で館職員の説明を聞いて学習する。
学習ノートを用いて個別に自主学習

２）体験活動（石器作り）

（２）縄文の森広場

１）体験学習：全員で石のアクセサリー作りを実施
全体を半分に分けて時間差で火おこし体験を実施

２）見学学習：（火おこし体験順番待ちの間に）探検シートを用いて判別に自主学習

６　事後指導

帰宅後宿題でワークシートを記入し、その後授業で壁新聞の作成・掲示

利用学習報告書

平成２５年４月１８日
担当　第６学年　佐々木直子

１　事後指導について

（１）実施日

・平成２５年度４月１７日（水）家庭学習
・平成２５年度４月１８日（木）２校時

（２）主な内容

・宿題としてしおりに学習のまとめを行った
・社会科の授業で「校外学習新聞」を作った

２　送付するデータ

（１）児童生徒の感想（３点　３名分）

地底の森ミュージアムでは２万年前の木の根っこや焚火をした後なのがちゃんと残っていてすごいと思いました。あの場所に森があったと思うと驚きです。縄文の森広場では竪穴式住居を保存するために住居の中で火を焚いていたことが分かりびっくりしました。（N 子）

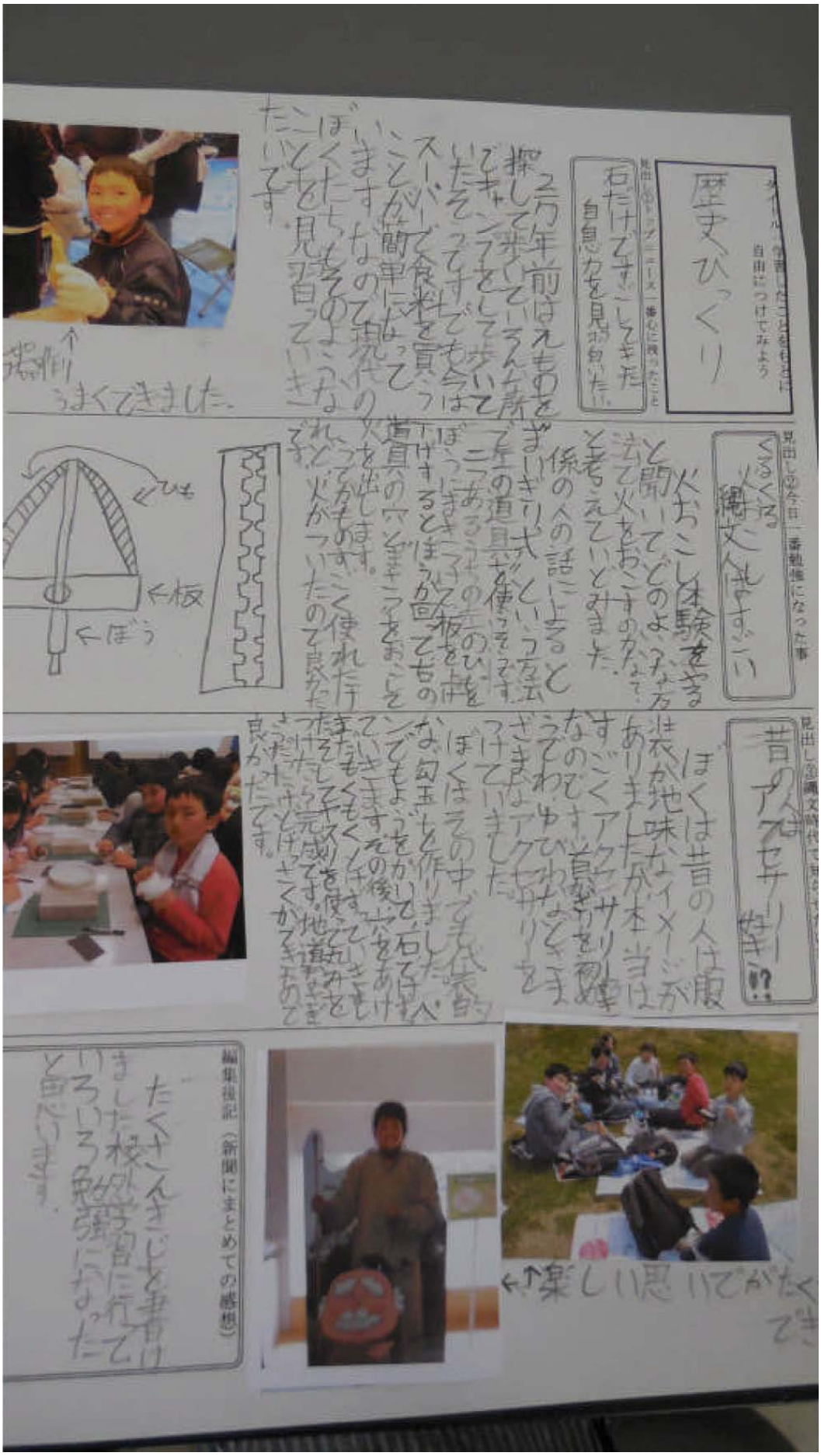
２万年前の富沢遺跡の当時の人たちの生活や森の跡などがみれておもしろかったです。火起こしを通して学んだことは、マッチもライターもないので木の棒を回して火をつけたけどなかなか火がつかなくて縄文人は大変だったんだと思いました。（S 男）

旧石器時代は狩りをしたり寒い所に住んでいてとっても大変だったのがわかった。ご飯がシカのあぶりだけっていうのがすごいと思いました。勾玉作りをしての感想はハート形にしたらむずかしかったけどできたらやりがいがありました。（T 子）

（２）教師の感想（1 点）

旧石器時代、縄文時代の遺跡に触れ歴史学習に対して意欲を高めることができた。学習カードが大変有効で理解を深めることができた。石器作りや火おこしなどの体験活動に真剣に取り組み縄文人の知恵と工夫の素晴らしさに気づくことができた。両施設とも展示・体験メニューに工夫がなされていて学習効果が高まった。

（３）児童生徒の作成資料のデータ（新聞３枚）



タイトル　学校でしたことをもとに
自由につけてみよう

縄文新聞

見出し　タイトルにふさわしい言葉を自由につけてみよう

勾玉体検

縄文の森広場では、勾玉体検や火起し体検がありました。

そのやてもぼくがいちばん心に残ってるのが勾玉体検がんに残っています。

なぜなら一番時間がかかったからです。

石ではすったりやすりを使ってむずかしかったです。

見出し　学校で一番勉強になった事

地底の森体検

地底の森ではとにかくクイズの時間が多かったです。

でも地底の森では昔の人のやったあとが残ってすごいなぁ思いました。

昔の人が火を起こしたあとがまだ残ってて2万年前のでキラこがまだ残ってるところが地底の森をふくめてろったと知ったらすごいと思いました。

クイズでははがきのノートの問題を問りて次のページに進むけど、それを全部できたあんは縄文のことがくわしくなって、人類が400万年前に誕生したことがいろいろかってとても楽しかったです。

見出し　中縄文時代で知らせたい事

昔の人は……

昔の人は何もなくて、火をつけるのも大変でした。それでスーパーもないから動物をかるしかありません。動物をかるには、やりや石器が必要です。その石器をつくってたのしかったです。

そしてもう一つ火起し体検をして、昔の人の大変さを知りました。うでがつかれて上下にやってなかなか火がつかなくて、大変でした。

鹿の角

サメの歯

ぼくたちの作った勾玉ほかにもいろいろなサメの歯アクセサリーや鹿の角アクセサリーがあります。

昔の人のようすが見える

いろいろな体検をして主主ました。

編集後記（新聞にまとめての感想）

自分では字と写真をこうこに使って組合せを使ってなせた面白いです。

体検ではとても楽しかったです。

タイトル（学習したことを参考に目を引くように）

縄文時代 新聞

見出し（キャッチコピー）（一番心に残ったこと）

火おこし体験

舞ぎりさの火をこし器を使って火をおこします。煙が出て赤い火種ができ、炎になるまでがんばります。

私は、火種まではできたけど炎までではできませんでした。とてもうでがつかれました。やるのは簡単だけど火種まではむず

見出し（今日一番勉強になった事）

川添東遺跡

川添東遺跡は名取川中流域の旧石器時代と縄文時代の遺跡です。左岸の河岸段丘上にあり、標高は70～80m、広さは東西350m南北170mほどの規模です。発掘調査の結果、旧石器が発見され、この遺跡は後期旧石器時代から、すでにヒトの活動のあとがあり、竪穴住居跡や貯蔵穴などが52基見つかりました。これらのことから川添東遺跡では、せきれい段丘面を居住の場や狩猟の場として利用し

見出し（縄文時代で知らせたい事）

縄文人のすごい所

①ノーベル賞級の発明品。土器、弓矢、編みもの、いろんな釣りの道具、うるしのりの道具、そのほかにもたくさんあったらしい。

②環境にやさしい生き方
縄文人はくらしやすいように、なるべく環境を汚さないように、食べものになるものはなんでも食べ、道具になれるまで大事に使っていたようだ。

③川でも海でもスイスイ丸木舟
あちこちの遺跡から縄文人の使っていた舟が見つかっています。川でも海でもスイスイ舟をこいでいたようです。

④食べもの
長くたくさん天日ほしした木の実は団子にしたり、あなに入れて土をかぶせ入れ、食べない部分や肉はそしたり、塩漬けにして保存するようにしていた。

⑤衣
あの人たちはおしゃれ。あの時代とかはいいのべ、アクセサリーとかのアクセサリーなどもときどきこわれてきたものが見つかりました。あとしゃれるしものがあったりしたりしていたようです。

⑥おしゃれとたしなみ
縄文人は頭にはくしやアクセサリーにはピアス、首にはネックレス、手にはブレスレットなどいろんなアクセサリーで体をかざっていたようだ。なかには美しいおや貝でかざったものやうるしぬりのものもあったらしい。

編集後記（新聞にまとめての感想）

縄文時代の人のくらしはすごいと思いました。でも新聞を作るのはつかれた。